

小郡市消防団

OGORI Volunteer Fire Corps

2021.11.9発行 第28号

■発行／小郡市消防団

小郡市消防団 柳原団長 藍綬褒章受章



令和3年春の褒章において小郡市消防団柳原和敏団長が、長年にわたって消防の発展に尽力した功績が認められ、藍綬褒章を授与されました。

プロフィール

平成 2年	第2分団	入団
平成15年	分団長	拝命
平成21年	副団長	拝命
令和 2年	団長	拝命

おうち時間 家族で点検 火の始末

(2021年度全国統一防火標語)

- ◇連載企画 第4回 消防団とわたしたち
- ◇小郡市消防団の紹介
- ◇本部分団新メンバー加入！

消防団とわたしたち

「広報誌を手にとった皆さまに、消防団についてもっと知っていただきたい。」そんな想いから、今回は新しく分団長に就任されたお二人に対談して頂きました。【本文敬称略】



対談者 プロフィール

小郡市消防団 第1分団長

松尾 辰次 写真左

平成13年
第1分団入団
令和3年
分団長 拝命

小郡市消防団 第7分団長

志賀 栄雄 写真右

平成9年
第7分団入団
令和3年
分団長 拝命

消防団に入団したきっかけについて

松尾 地域の順番。

上の人から「次お前！」てね。地域から3年の約束で、3年終わればまた次の人という感じ。

志賀

当時の分団長に勧誘された時、まだ二十歳で早いかなと思って最初は断ったけど、早かれ遅かれ入らないかんと思ったのと、今後もずっと地元にあるということもあって、入らせてもらいましたね。

入団して特に印象に残っていること

松尾

1年目は慣れるまでなにも知らないことだらけやったけん、なんもかもがびっくりていつか慣れるまでは驚きという感じ。あとは実際の火災現場。自分が入ったときの入退団式のあとすぐに原野火災があって煙のすごさに驚いた。団服を羽織っていけば、住民の方が指示に従ってくれて、団服の強みはすごいなと感じたね。

志賀

ポンプ操作注1はシヨッキングやった(笑)。確かに仕事後の真夏の訓練はきついものがあり行ったり行かなかったりしてた。それでも、当時の7分団は歴史が浅かったんで(創立5年目)、市の大会で初めて7分団がメダルを取れた時は正直うれしかったですね。

消防団の魅力

松尾

目標は決まってるやないですか。目標に向かって、みんなが同じことに一所懸命やるというのが一番かな。

志賀

一緒になるかもしれないですけど。仕事の立場や年齢関係なしに、みんな同じように分け隔てなく、火災に出動したり訓練に頑張るのは、魅力的だと思いますね。

松尾

サイレンや団長の一声で2000人の団員が昼夜問わず集まってくるんやけん、それはすごいよね。他にも団員の年齢層が広いので普段知り合っこともない人が消防団に入って知り合えるのも魅力やね。

志賀

魅力というわけでないけど、消防団活動が地域の方に感謝されることがあるが、感謝される存在なのかな？と活動しながら思うことがあるんですよ。誰かがせいやいかんことをたまたま自分たちが選ばれてやってるだけであって、辞めたら次の人が同じことをやる活動と思う。

また消防団を辞めても同じことするとするとうんですね。たとえば、火災で消火栓などの場所を消防団に教えたりしてね。これは消防団に携わってないといけないことだと思えますね。

分団長になって変わったこと

松尾

今までは守られてきた側やったのが、分団長になって団員を守る側になった。団員にケガがないようになど気にしながら活動するようになってきたかな。

志賀

そうですね。言われたように今までは自分が動けばいいかなと思っていただけ、団員を守る立場になってプレッシャーを感じていますね。

災害について

松尾

予報で前もってわかる場合は、起こってから動くのではなく、市や消防団で、呼びかけや、あらかじめ冠水する場所に土嚢など準備してもいいと思う。

志賀

「命を守る行動を」と言われるが、水が入って避難しましょうと呼びかけても実際避難できない人もいる。その場合は「避難を手伝ってほしい」と声をかけてほしい。

松尾

一人暮らしの高齢者など情報を持っている民生委員の方や自主防災組織との連携をとる必要があると思う。

地域について

松尾

ぜひ消防団に入って欲しい。志賀分団長が言われていたが、いつかはという思いがあるんであれば、区長さんに紹介してもらったり、市役所注2に連絡するなり、ちよっとした勇氣を持って行動してほしい。

志賀

新型コロナ禍でいろいろ大変だけど、災害や火災は待ってくれない。その中で工夫しながら訓練をして、みんなが地域を守っていききたい。

注1

ポンプ操作消防操法自動車ポンプの部ポンプ車・ホースなどの操作を迅速、確実かつ安全に行うとともに、動きの綺麗さを競う。探点は各個動作の正確さ及び火点の的が倒れるまでのタイムなどが減点法で採点され、減点が少ないチームほど上位となる。

注2

入団案内は最後のページに記載しています

小郡市消防団の紹介

消防団活動を通して、地域の安心・安全、そして生命と財産を守ります！



第8分団



北部の新興住宅地に位置する“第8分団”です。災害等には、組織力を生かし、いち早く対応いたします

第7分団



大切な人、大切な街を守ります

第1分団



歴史をつなぐ若集団 伝統を担い 小郡市を守ります

第5分団



第5分団の絆は五つ星！ 全団員全力で大好きな小郡市を守ります！

本部

資機材班



万が一の大規模災害に備えて救助資機材の操作訓練は欠かせません

団本部



各分団を統制し、地域住民の安心と安全を守ります

本部分団



応急手当の知識と技術の向上に努めています

第2分団



第2分団32名 三国校区の代表として活動しています

第3分団



勇往邁進

第6分団

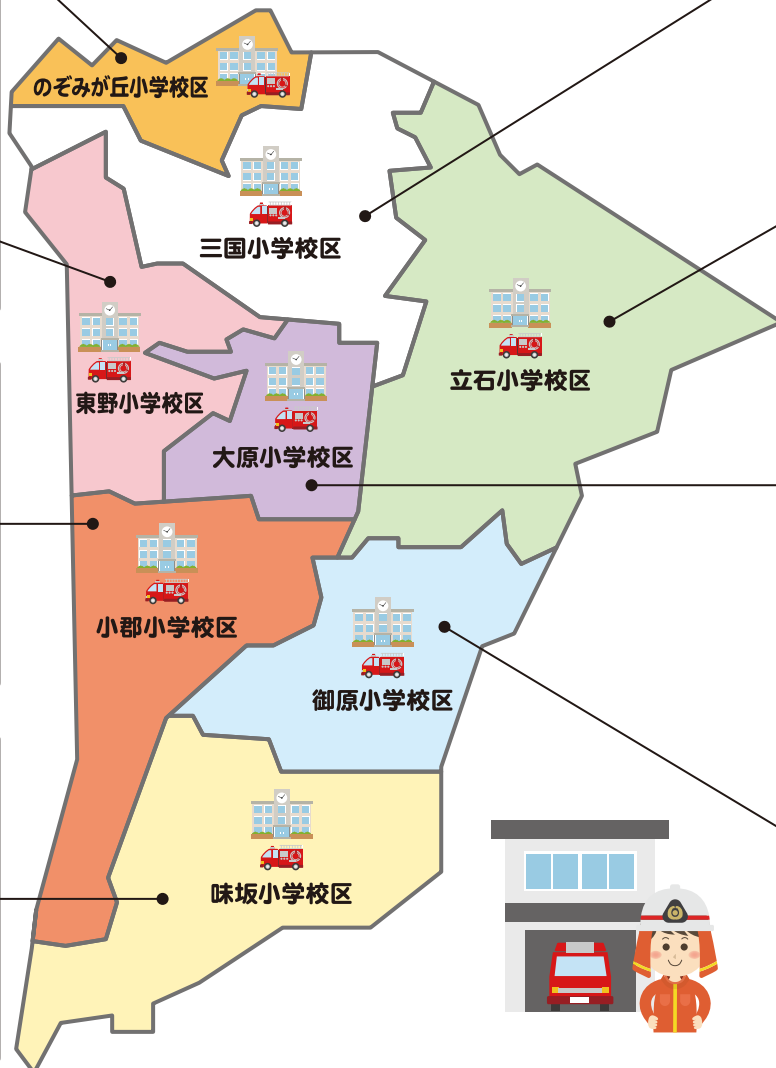


地域の方々の支援を受けて一緒に風水害対策や年末夜間警戒活動を行っております

第4分団



昨年末に新4分団格納庫完成！これを機に、より一層消防団活動に励みます！



小学校区ごとに、分団の活動拠点となる格納庫があります。格納庫には、消防ポンプ車や活動に必要な機材を納めています。

本部分団新メンバー加入!



小郡市消防団には、女性だけで構成されたチーム「本部分団」があります。

今年度、新たに二人が加わりました!

荒木(写真左)「消防団は男性だけだと思っていたが女性もあると聞き、地元のためにお役に立てるのであれば」

山口(写真右)「地域の方とコミュニケーションをとり、小郡市の事をもっと知りたい」



消防団では月に2回車両資機材の点検を行っています。

とても暑いある日のこと、新型コロナウイルス感染防止対策をしつつ、本部分団の訓練資機材でもある軽可搬ポンプの動作確認を行いました。

小郡市消防団は総勢237名で構成されています。地域の安全・防災力向上のため、日頃から訓練に励み、技術や知識の習得に努めています。

様々な職業、幅広い年齢層のメンバーが、それぞれ仕事や家庭に無理がないようお互いに協力しながら活動しています。

ぜひ、消防団に入ってみませんか? 団員一同、心よりお待ちしております!

小郡市消防団



- 入団資格
- 活動内容
- 公務災害補償
- お問い合わせ

18歳以上で市内に居住、勤務、通学している男女
災害時活動・各種訓練・防災啓発等
消防活動中の負傷者等に対する補償制度有り
〒838-0198 福岡県小郡市小郡255番地1
小郡市役所 経営政策部 防災安全課 消防・安全係
TEL: 0942-72-2111 (内線243)
<http://shobo.ogori.net/>